

令和3年度 学校評価報告書

※[]は令和2年度 令和3年度自己評価は4段階、学校評価は10段階

評価指標	自己評価項目（保護者）（職員）	自己評価	学校評価	学校運営協議会委員の意見（○よい点 ●改善 ☆要望、期待等）
知 1 基本的な学習習慣の確立 2 確かな学力の育成	① 基本的な学習習慣を定着させ、学習意欲・読書意欲を向上させます。 保(3.1) 児(3.2) 職(3.0) 地(3.3)	3.2 [3]	7.4 [3.5]	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の様子は、子どもたちがタブレット等を使いこなしている学習を見ることができ、主体的に取り組めていました。 ○ 学習については、授業中しっかりと落ち着いている様子がうかがえ先生方のご指導のおかげであると思います。 ○ 板書の素晴らしいクラスがあり、感心しました。 ○ コロナ対策やデジタル化、英語教育等の新しい学習習慣の確立に苦心懲憺されている先生方のご尽力に敬意を表します。 ○ 今年度はコロナウィルスにより休校になることはなかったと思いますが、昨年度の休校による学力への影響はあったと思います。それを補いながらの指導は大変だったと思いますが、子どもたちは落ち着いて真剣に学習に取り組んでいたので、取り戻せたのではないかと安心しました。 ○ 学力が高いという声を聞くことで、日頃の学習意欲が向上している証かなと考えています。 ○ 授業参観をしても一人一人が真剣に授業を聞いている姿が伺えます。 ○ 授業の様子を見る限りでは、落ち着いているように見えました。塾で学習する子どもが増えていますが、やはり学校の授業をしっかりと聞き、家庭での学習が一番大切だと思います。 <p>☆ 学力評価は、「学力テスト」だけでなく総合的にされるものと思います。</p> <p>☆ タブレットを使った授業に今後の将来的IT部門へのレベルアップを期待します。</p> <p>☆ 読書を一人もれなく習慣化させてほしい。読書経験は、人生経験の縮図であり自分の力で「答え」を探し出す力を育むものと思います。</p> <p>☆ 放課後、学校や公民館等で地域の学習支援員やボランティアの協力での支援策も。</p> <p>☆ 個々の目標を定めさせ、少しずつの向上を褒め、やる気、本気を出させる指導の充実を。</p> <p>● 授業を見ての学力向上については、4教科があまり見れなかったので、評価が難しいです。</p> <p>● 自宅学習でとりあえずやっているような感じを受けることがあります。何か達成目標等を持たせてあげれば、自分なりに工夫して楽しく学習ができるのではないかでしょうか。</p>
	② わかる、できる、伸ばす授業づくりに努め、学力を向上させます。 保(3.3) 児(3.4) 職(3.0) 地(3.3)			

徳	<p>3 基本的な生活習慣の確立</p> <p>① 基本的な生活習慣を身に付けさせます。 (主に: あいさつ、右一静歩、無言の場) 保(3.3) 児(3.3) 職(2.8) 地(3.1)</p> <p>4 心の教育</p> <p>② 心に響き合う道徳教育の充実に努めます。 (主に: 生命尊重、思いやり、言葉遣い、ボランティア) 保(3.2) 児(3.5) 職(3.0) 地(3.1)</p>	3.2 [3]	7.3 [3.2]	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会釈が学校全体にしっかりと浸透していて、落ち着いた態度で生活ができる。 ○ 清掃の様子や昼休みの様子を見ることができていないが、子どもたちを見ていて、きちんと活動できていると思います。 ○ 「右一静歩」という言葉が低学年の子どもたちへも浸透していると感じます。社会に出てからのマナーへもつながるので大切だと思いました。あいさつ、無言についても同様です。 ○ 道徳の授業をしているクラスを見ましたが、テーマについて真剣に考えている子どもたちの様子が素晴らしかったです。考える時間が心を育てるのではないかと思います。 ○ 祝吉地区公民館のふれあい教室に参加している児童の様子からあいさつ等がしっかりとでき、受け答えもはっきりしてくれる姿に、基本的な生活習慣等がよく身についていると感じます。 ○ あいさつは他校の児童よりもよくできていると思います。 ☆ 道徳の授業を見てみたいです。 ☆ 「命を大切にする」学習を促進してほしい。いじめ等の防止のためにも。 ☆ 今年もコロナでボランティア活動ができなかったと思われます。来年度は積極的に行ってもらいたい。 ☆ 日常子どもたちの元気なあいさつに大人も見習うべき、地域と一緒にあってのあいさつ運動を。 ☆ 学校と保護者が共通認識のもとで信頼関係を充実させ、家庭での指導法も大事では。 ☆ 自殺する児童・生徒が増加しているという話もあり心が痛みます。命の大切さを子どもたちに考えてほしいなと思います。 ● 学校内でのあいさつはよくできると思っています。ただし、スクールガードをやって感じるのですが、横断歩道で登校時のあいさつがまだ不十分です。こちらから「おはよう」と声を掛けても返事が返ってこない子どもがまだ30~40%ぐらいいます。 ● あいさつが出来る子が多く、嬉しく思います。ただ、中には素通りしていく子もあり、私からあいさつをするようにしています。日頃のご指導をお願いします。 ● 目が合ってもあいさつしない児童もいます。
体	<p>5 体力向上</p> <p>① 運動の日常化に努め、体力を向上させます。 保(3.2) 児(3.4) 職(2.6) 地(3.1)</p>	3.1 [3]	7.4 [3.0]	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の授業もコロナ禍で実施が大変だったと思います。昼休みも密にならないような工夫があったとお聞きし、思う存分体を動かせる日が待ち遠しいですね。 ○ 手洗い、消毒、うがい等は、このコロナ禍でかなり身についている感じます。 ○ マスク着用や手消毒をはじめ学校の諸々なコロナ対策に挑戦したことなども達は、衛生、健康、安全、協同、友情、勉学等に対する自己

6 自己管理能力の育成	<p>② 健康管理（歯科衛生、立腰指導等）に努めます。</p> <p>保(3.1) 児(3.6) 職(2.7) 地(2.9)</p>		<p>管理能力を育む貴重な経験ができたと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昼休みが完全に遊べる時間ではなかったのが子どもたちにとって残念だったと思いますが、先生方も工夫して下さっていました。持久走大会もみんな頑張っていました。 ○ 「立腰」という合図に子どもたちが姿勢を正していました。続けてほしいです。 ○ コロナで外に出る機会も少なく体力も落ちていくような状況もありますが、近所（公園等）で見かける児童たちはよく動いて体力も十分保っているように見受けます。 ☆ 不登校の児童の心のケアをこれからもよろしくお願ひします。 ☆ 昨年度に比べて運動する機会はかなり多くなったと思います。学力も大事ですが、日の光を浴びる時間を増やしてほしいと思います。 ☆ 私の感じる範囲では、虫歯の子は少なく感じます。将来のためにも歯の大切さを教えていただきたい。 ☆ 地域においてスポーツ指導経験者を募り、土日祭日等を利用して楽しい運動で体力向上を目指す取組を。 ☆ 上級生の模範生徒が下級生を指導する方法を。 ☆ 口の中を清潔に保つことは体の健康にもつながると思います。治療していない児童には積極的に治してほしいと思います。
ふるさと	<p>7 郷土愛につながる祝吉小学校ならではの教育活動</p> <p>① PTAや地域の行事及び体験的活動（ふるさと教育）の推進と充実に努めます。</p> <p>保(3.2) 児(3.4) 職(2.9) 地(3.0)</p> <p>② 夢や希望を育む幼保小中や外部人材との連携強化（キャリア教育：主に社会性や人間関係向上）に努めます。</p> <p>保(3.0) 児(3.4) 職(2.8) 地(3.1)</p>	<p>3.1</p> <p>[3]</p>	<p>7.1</p> <p>[3.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 祝吉地区公民館まちづくり協議会等の行事にも積極的に参加していると思います。 ○ コロナ禍で、地域の行事も大変だったと思います。 ○ 地域とのつながりがあまりできていないような状況ではありますが、ハローワーク等を通じて少しは体験できる場があったようでもかったです。 ☆ 「学校だより」等が発行されているのであれば送付していただき、学校の様子を知りたいと思います。 ☆ 「郷土愛につながる学習」を、地域と連携して一段と発展させてほしい。地域は、子どもの生活の基盤であり、子どもに社会的な生き方を伝える舞台だと思います。 ☆ 地域コミュニティが希薄になりつつある現状において、「地域の子は地域で育てる」組織づくりの充実を。 ☆ 先生、保護者が地域活動において信頼関係を築き、人生経験豊富な人を活用し児童との学習の推進を望みます。 ● コロナ期間で、地域行事がなく地域の方々とのふれあいがもてず、子どもたちと住民との距離が遠くなっているのではないかと心配に思っています。 ● キャリア教育等を通じて、地域とのつながりを持ちながら、行事等への積極的な参加を促してもらいたいと思います。

				<ul style="list-style-type: none"> ● 今年も地域の行事が例年通りではなかったので残念ですが、少しずつ行事も再開されているようです。できる限り参加していくように親も意識を変えていけたらと思います。子どもたちもお互いに楽ししさが分かり合えたらと思います。 ● 地域の行事に参加したいと思っている子どもがいても、保護者の都合により参加できない子どももいるのではと思います。
次年度に向けて	1 基本的な学習習慣の定着・・・「基本的な学習の約束事」の徹底、「読書啓発活動、いざみ読書」の推進、「家庭学習の手引き」の啓発 2 確かな学力の定着・・・「主題研究」の推進、「学年研修」の充実、「ICT 機器」の有効的活用、「あやめタイム」の充実 3 基本的な生活習慣・・・「生徒指導」に関する共通理解・共通実践、「積極的な生徒指導」の推進、「祝吉小4つの宝」の継続、「地域、関係機関」との連携 4 心の教育・・・「考え方・議論する道徳」への授業改善、「家庭や地域との連携を図った人権教育」の実践 5 体力向上・・・「体育科指導方法」の工夫・改善、「個人目標や努力事項」の設定、「家庭や地域との連携を図った運動の日常化」の推進 6 自己管理能力の育成・・・「健康管理、安全管理」の徹底、「立腰の日」の継続・実践、「保健・安全指導」の充実、「感染症予防」の徹底 7 郷土愛・・・「学校、家庭、地域、地元企業」との連携、「学校支援ボランティア」の積極的な活用、地域行事参加への啓発 8 その他・・・「働き方改革」につながる教職員の業務改善の推進			